

政治経済学部開講 英語で授業を行う基本科目・応用科目

# Top School Seminar 2025

## トップスクールセミナー

～海外大学から招いた教員から 英語で学ぶ～

英語力を磨ける！

海外大学の授業スタイルで、「オールイングリッシュ」で講義を行うので、総合的な英語力がつきます。

追加費用なし！

通常の履修登録で受講することができます。

留学体験&仲間ができる！

明治大学にしながら海外大学の授業を体験できます。また、語学力向上やグローバルキャリアに興味のある仲間と出会う貴重な機会です。

こんな学生さんにおすすめ

- ✓ 英語で行われる授業・ネイティブ教員の授業を、たくさん受講したい！
- ✓ 留学前の力試しがしたい！
- ✓ 留学後に英語力を維持したい！
- ✓ 経済的に海外留学は難しいけど、海外留学体験したい！

1 専門分野 2 科目名 3 授業日程 4 開講曜日時限

### 秋学期



アブドラボウ, アフメド先生

駿河台

デンバー大学 (米国)

1	中東をめぐる国際政治
2	Top School Seminar (Politics) D (政治学特殊講義 IV) (2単位)
3	10月13日 (月) ~11月12日 (水)
4	月・水 : 各5・6限 ※11/10, 11/12は5限のみ



ヒスロップ, ディーン先生

駿河台

モトウ経済・公共政策研究所 (ニュージーランド)

1	実証ミクロ経済学・政策評価
2	Top School Seminar (Economics) D (経済学特殊講義 IV) (2単位)
3	9月22日 (月) ~11月12日 (水)
4	月・水 : 各5限



ディッポリティ, カルロ先生

駿河台

ローマ・ラ・サピエンツァ大学 (イタリア)

1	ヨーロッパ経済・格差・貧困・欧州経済思想・経済学史
2	Top School Seminar (Economics) F (経済学特殊講義 VI) (2単位)
3	9月30日 (火) ~11月20日 (木)
4	火・木 : 各5限



モーク, ピーター先生

和泉

西シドニー大学 (オーストラリア)

1	日本政治外交史・アジア太平洋地域国際関係論
2	Top School Seminar (Politics) B (政治学特殊講義 II) (2単位)
3	11月18日 (火) ~12月18日 (木)
4	火・木 : 各5・6限



#### 【履修上の留意点】

- ・ 履修登録期間中にWEB履修登録してください
- ・ 開講曜日・時限に重複がなければ、複数履修できます
- ・ **他学部生も履修可能**です
- ・ 短期間で集中して開講される科目です
- ・ 各学科の必修科目との重複を極力避けるため、主に4~6限に配置されています
- ・ 各先生の授業の詳細は、Oh-o!Meijiでシラバスをご確認ください

各科目の開講スケジュールにご注意ください



## ◆よくある質問とその回答◆

Q1：どんな学生が受講していますか？

A. **語学力を向上させたい学生、留学する代わりに国内で留学体験をしたい学生、短期・長期留学後に語学力を維持したい学生、明治大学が海外から受け入れている交換留学生、グローバル企業への就職を控えている学生**等、様々な学生が授業を履修しています。

Q2：トップスクールセミナーの授業の内容は、どのようなものですか？

A. 担当教員・科目によって、授業の内容は様々です。Oh-o!Meijiの「授業検索」機能で授業を検索し、**シラバスをご確認ください。**

Q3：トップスクールセミナーの授業は、すべて英語で行われるのですか？

A. 原則として、授業（ディスカッションやグループワーク等を含む）は**すべて英語**で行われます。

Q4：トップスクールセミナーの授業は、なぜ短期集中型なのですか？

A. トップスクールセミナーの授業を担当する教員は、**海外の大学や研究機関で研究・教育を行っている現役の先生方が多く**、本務校や研究機関の長期休暇期間等を活用して来日することが多いため、来日期間が短くなる傾向があります。その限られた来日期間で、明治大学の学生向けに短期集中型の授業を実施しています。

Q5：トップスクールセミナーの授業を履修するために、TOEICやTOEFLなどの語学要件はありますか？

A. 受講のための**語学要件は設けていません。**

Q6：授業の評価はどのように行われますか？

A. 担当教員によって、授業の評価の方法は異なります。評価方法は、当該授業の**シラバスでご確認ください。**

Q7：政治経済学部以外に所属している学生も、トップスクールセミナーの授業を履修できますか？

A. 他学部生も履修可能です。例年、**履修者の約40～50%程度は他学部生です。**他学部の学生さんも、ぜひ積極的に履修してください。

履修を希望する場合は、**所属学部が指定する春学期の履修登録期間中に、WEB履修登録**を行ってください。

※秋学期の履修修正期間には、他学部の科目の追加履修はできませんので、トップスクールセミナーの授業を履修したい場合は、必ず春学期の履修登録期間中に、履修登録をするようにしてください。

Q8：トップスクールセミナーの授業を受講するには、どのような手続が必要ですか？

A. 他の授業科目と同様に、**春学期の履修登録期間中に、WEB履修登録を行ってください。**その他の特別な申込手続は不要です。特別な費用（受講料など）は必要ありません。

Q9：トップスクールセミナーの授業を複数履修することはできますか？

A. **開講期間、曜日時限等に重複がない限り**、複数履修することが可能です。

（複数履修可能な例）

・同一学期において異なる曜日に開講される2つの科目

Top School Seminar XX（秋開講）月曜・水曜 各5限 と Top School Seminar XX（秋開講）火曜・木曜 各5限

・春学期と秋学期において、同じ曜日に開講される2つの科目

Top School Seminar XX（春開講）月曜・水曜 各5限 と Top School Seminar XX（秋開講）月曜・水曜 各5限

Q10：駿河台で開講される科目を、1・2年生が履修することはできますか？

A. できません。ただし、3・4年生が、和泉で開講される科目を履修することは可能です。

Q11：協定留学をする予定（または協定留学中）です。留学への出発前、もしくは留学からの帰国後に、全14回の授業と試験をすべて受けられる場合、単位を修得できますか？

A. **授業開始日から留学開始日まで（もしくは留学終了日以降）の期間において全14回の授業に出席し、試験を受験（もしくはレポート提出等）することができる場合**は、当該科目を履修し、単位修得することができます。



たくさんの学生さんの履修を  
お待ちしております！

